

”絆”きずな

出版責任者
訪問リハビリ
テーション振興
委員会

訪問リハ・地域リーダーの”絆” ご当地紹介 北海道編

北海道は広大で、端から端までの移動は車でなんと10時間以上かかります。そのため地域ごとに訪問リハ連絡会（現在10連絡会）があり、研修会や勉強会を通して自己研鑽や他職種連携等に力を入れています。年1回は各連絡会の代表が集まり、お酒を交わしながら情報交換し、広大な地での「絆」を大切にしています。私が所属する北海道訪問スピーチセラピストの集いも1つの会としてSTが定期的に集まって勉強会を行っています。これからも、北海道の隅々まで必要な方に必要な量の訪問リハを届けられるよう、力を合わせて頑張っていきます。

北海道訪問リハ・地域リーダー 千葉 桂子
言語聴覚士

2014訪問リハ・フォーラムpart2の案内

平成26年11月14日(金)14:45～16:15に東京国際展示場で、訪問リハビリテーションフォーラムpart2を開催いたします。平成26年5月18日に続き2回目となります。今回のテーマは「医療・介護連携の中での訪問リハビリテーションの在り方～退院・退所時の他職種連携について～」としました。病院等の施設かの退院・退所後に切れ目のない、効果的な関わりを検討するため、シンポジウムを実施します。皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

尚、申し込み方法は各協会及び訪問リハビリテーション財団のホームページからとなります。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 山口 勝也
組織化班

事業所リレーエッセイ⑥(ゆづる) 沿岸の暮らし

私は、今年の三月から宮古・山田訪問リハビリステーション「ゆづる」に入職しました。日々、訪問という現場の難しさも、楽しさも味わっています。利用者様の声を聞き、共に体を動かして、どんな変化をつくれるか？ 利用者様との二人三脚なのだから～と、つくづく思われています。「ゆづる」がこの地にできて1年と6ヶ月ですが、基盤をつくってくれた先人のスタッフに感謝するとともに、自分も少しでも地域の栄養分になれるように奮闘したいと思っています。滔滔と流れる閉伊川を眺め、近くに重茂半島の山を見渡し、海鳥が飛び空を見て、この味わいの深い土地で、これからも頑張って行きたいと思います。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 天野 賢一
宮古・山田訪問リハビリステーションゆづる

お知らせ

★宮城県気仙沼市に新規事業所設立！職員募集について（浜通り、ゆづるも同時募集しております）
～東日本大震災復興特区における訪問リハビリテーション事業所～
詳しくは右記へご連絡ください。TEL:03-6804-1422 E-mail:guidance@japanpt.or.jp

★2014訪問リハビリテーションフォーラム part2

本フォーラムはHOSPEX Japan 2014リハビリ・介護セミナーで実施されます

各協会・一般財団法人訪問リハビリテーション財団ホームページより事前登録を行ってください。